

北方町政策審議会 グループ協議 会議要旨

グループ名	グループ2	出席委員数	6名
日 時	平成24年10月1日(月) 19時10分～21時00分		
場 所	北方町役場3階 第2会議室		
【協議事項】(テーマ等)			
1. 高齢者福祉について			
→北方町は、全国平均に比べれば高齢者の少ない町			
→それでも高齢化は進んでいる			
→人口ピラミッドは、上部(高齢者)で膨らんでいる市町村も多い			
→老後の生活場所として老人ホームが求められているが、施設数は少ない			
→老人クラブの加入率は下がっているが、最近は元気な人が多く、老人といえる年齢が上がっている			
・退職した男性たちは何をして過ごしているのか			
・介護が必要な人をどうするか、元気な人をどうするか、のどちらかに分かれるので、それぞれの施策を考えないといけないのではないか			
・長生きの上に元気であること、健康年齢が大事			
・専業農家でやってきた姑は、年相応に記憶力が衰えてきたとはいえ、毎日畑に出て元気だが、区画整理で畑が無くなった後、元気でいられるか心配			
・今は私たちが親を見ているが、自分が年を取ったときが不安			
・安い施設はないか、施設があれば自分の意思で入所したい			
・そうそう空きは出ないので、今から予約しておいてちょうどいいくらいらしい			
・自宅で亡くなるのが理想			
・自宅にいて、成年後見人、ヘルパーをつけて、宅配サービスを受けて			
・特に昼にかっぱ寿司に老人が多い、安くて手間いらず			
・老人のサークルで料理をしてはどうか			
・外食ばかりは良くないし、料理は脳の活性化に良いので、さらに配食のサービスも行い、また自分が年をとったら配食をしてもらおう、というサイクルをめざして			
・配食で、日常の見守りもできる			
・そういうグループを育てていけるとよいのではないか			
・地産地消で、畑からみんなで始めてはどうか			
・せめて週1回で、弁当作りとおしゃべりができるとよいのではないか			
2. 地域のつながりについて			
→国の白書によると、生活面で協力し合う人がいない人が 65.7%もいる			
→都市部も含まれているが、町内会・自治会に参加していない人が 51.5%もいる			
→近所と親しく付き合いたいののに、実現していない人がたくさんいる			

- ・孤立しやすい人が多い
- ・付き合い方が分らない人も多いのではないか
- ・自治会に入らないとつながりを持てないし、緊急時に協力し合えない
→アパート住まいでは自治会に入っていない人が多いが、柱本では家賃から会費を徴収して大家さんが面倒を見ているケースがいくつかある
- ・独居者に緊急通報装置は配られているか？
→設置を希望される独居老人には配布しており、本巣消防につながるようになっている
- 和光会は、緊急用にパソコンで映像通信できるサービスがある
- ・北方で孤独死はあるのか？
→昨年アパートで1件あり、翌日に発見されている
- 高齢者や障がい者の見守り台帳を作成しているが、個人情報になるので、希望されれば載せている
- ・孤独死・突然死は避けられないが、早く発見、対処できるつながりが必要
- ・大きい本宅を持っている年寄りだけしか住んでいない家は、家を間貸し(シェア)してはどうか

3. 自治会活動について

- ・神輿の担ぎ手は集まっているのか？
 - ・岸和田のだんじり祭など有名な祭りでは、代々担い手が心血を注いで、その祭りを中心とした生活をしているようなところがある
 - ・北方は根付いていないのか
 - ・自治会バーベキューはただで開催するから集まるのかもしれない
 - ・どこの誰だか分らない人がいたりもして、輪が広がる
 - ・柱本は安い金額を払ってもらって開催し、お金をかけた景品を出している
 - ・お金を出し合って、喜ばれる景品で還元し、人が集まるという好循環が作れるとよいと思う
 - ・自治会長も骨を折る人かどうかで違う
 - ・1年交代で、その1年を何事もなく平穏に終わればよいという人もいる
 - ・1年では自治会を把握できないのではないか
 - ・高齢化で自治会内で葬式が増えているが、その機会にご近所で集まれて、その後出かけてお茶する機会が持てている
 - ・班で年1回女性だけの飲み会があり、毎回ご近所連れだって集まっている
 - ・主婦になると飲み会がなく、流行りの女子会のようにあるとうれしい
 - ・自治会では大きすぎるので、班くらいで会える機会を作れると、住民の交流が活発化し、よいかもしれない
- ・次回開催日について 10月29日(月)午後7時から